



## L コマンド

この章では、L で始まる Cisco NX-OS セキュリティ コマンドについて説明します。

### lt

IP ポート オブジェクト グループの **less-than** グループ メンバーを指定するには、**lt** コマンドを使用します。**less-than** グループ メンバーは、エントリに指定されたポート番号より小さいポート番号と一致します。ポート オブジェクト グループから **less-than** グループ メンバーを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
[sequence-number] lt port-number  
no {sequence-number | lt port-number}
```

<b>シンタックスの説明</b>	<p><b>sequence-number</b> (任意) このグループ メンバーのシーケンス番号。シーケンス番号により、オブジェクト グループ内のグループ メンバーの順序を保持します。有効なシーケンス番号は、1 ~ 4294967295 です。シーケンス番号を指定しないと、現在のオブジェクト グループの最大シーケンス番号に 10 を加算した番号が割り当てられます。</p> <p><b>port-number</b> このグループ メンバーと一致するトラフィックが、この番号以下となるポート番号。有効な値は、0 ~ 65535 です。</p>				
<b>デフォルト</b>	なし				
<b>コマンド モード</b>	IP ポート オブジェクト グループ コンフィギュレーション				
<b>サポートされるユーザ ロール</b>	network-admin vdc-admin				
<b>コマンド履歴</b>	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				

**使用上のガイドライン**

IP ポート オブジェクト グループには、方向は設定されません。lt コマンドを、送信元ポートと宛先ポートのどちらと一致させるか、またはインバウンドとアウトバウンドのどちらのトラフィックに適用するかは、ACL でのオブジェクト グループの使用方法によって異なります。

このコマンドには、ライセンスは不要です。

**例**

次に、port-group-05 という名前の IP ポート オブジェクト グループに、ポート 1 ~ 49151 で送受信されたトラフィックと一致させるグループ メンバーを設定する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# object-group ip port port-group-05
switch(config-port-ogroup)# lt 49152
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
eq	IP ポート オブジェクト グループに equal-to グループ メンバーを指定します。
gt	IP ポート オブジェクト グループに greater-than グループ メンバーを指定します。
neq	IP ポート オブジェクト グループに not-equal-to グループ メンバーを指定します。
object-group ip port	IP ポート オブジェクト グループを設定します。
range	IP ポート オブジェクト グループに port-range グループ メンバーを指定します。
show object-group	オブジェクト グループを表示します。